

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 3 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日々の買物・散歩等、車椅子使用者の外出の機会が独歩者より少なくなる傾向にある。	9人の入居者が、バランスよく外出できるようにする。	午前・午後の買物、散歩は同一者にならないよう配慮する。 (特に午後からは、車椅子使用者等重介護者を優先する。) 季節感を味わえる機会を多く持つ。	12ヶ月
2	43	排泄誘導について、情報共有をし現在、主に4パターンの誘導方法を用いている。 更に個人の排泄パターンの把握に努め、自尊心を傷つけない対応模索する。	排泄の自立につながるケアに心がける。	個々人の排泄パターンをしっかり把握する。 排泄誘導の成功例など、職員間で情報共有する。 個人目標を作成し、自立支援に努める。	12ヶ月
3	47	個々の服薬している薬の薬効等の把握が出来にくい。	入居者の定期薬(認知症改善薬等)については、薬効等理解し、それぞれにあった服薬管理を行う。	定期的「服薬会議」等行い、職員間で勉強会を行なう。 訪問看護・主治医との連携を強化する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。